

防犯インフォメーション

電話de詐欺のアポ電にご注意ください。

柏市内において、電話de詐欺の予兆電話（アポ電）は依然として多数発生しています。柏警察署が把握しているだけでも、今年に入ってから実に200件以上のアポ電が確認されており、うち実際に被害が発生した件数は25件にのぼります。

（令和3年3月末現在）

電話de詐欺被害に遭わないためには、不審な電話に出ないようにすることはもちろんですが、犯人がどういった手口で電話をかけてきて騙してくるのを知ることが大切です。正しい情報と知識を身につけ、万が一詐欺の電話がかかってくることも動じることなく、家族に相談する、警察に通報するといった行動がとれるように日頃から心掛けましょう。

知っておきたい電話de詐欺の主な手口

●オレオレ詐欺…息子等の家族を名乗り、

（例）「仕事の大事な契約書類を間違った所に送っちゃった。」

「契約金をいくらか立て替えてくれないか。」

「仕事仲間が自宅まで行くから、現金を用意して待ってて。」

等と嘘の説明をして、犯人が自宅にやって来て現金をだまし取るもの。

●預貯金詐欺…警察官や銀行関係者等を名乗り、

（例）「口座から現金が不正に下ろされています。」

「キャッシュカードを新しくする必要があります。」

「確認のため口座番号と暗証番号を教えてください。」

「近くの者がキャッシュカードを受け取りに行きます。」

等と嘘の説明をして、犯人が自宅にやって来てキャッシュカードをだまし取るもの。

●還付金詐欺…市役所職員や銀行関係者等を名乗り、

（例）「医療費の払い戻し(還付金)があります。」

「手続きについて銀行から連絡があります。」

「近くのATMまで行ったら手続きを説明します。」

「電話を切らず、言うとおりにATMを操作して下さい。」

等と嘘の説明をして、高齢者をATMまで誘導し、電話で通話しながらATMの操作を指示して、犯人の口座にお金を振り込ませるもの。